

- 厳島神社 (2) -

データ収集：宇宙技術開発株式会社

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前掲の画像から厳島神社の本殿と大鳥居が入るように切り出してみました。西廻廊から東廻廊まで全長300mに及びます。満潮で海面があがった時の浮力をやわらげたり、雨を抜くために床板にはわずかな隙間を設ける等の工夫が施されています。建築様式は寝殿造りですが、海上木造建築物としては他に例がなく、国際的にも珍しい世界遺産となっています。干潮時には大鳥居まで歩いてわたることができますが、下の画像を見ると潮が満ちており、大鳥居と本殿が海に浮かんでいるように見えます。浅瀬の流れのパターンもよく判読できます。QuickBirdデータの観測精度の高さ（地上分解能：約61cm）を伺い知ることができます。古き平安時代の建築物をはるか遠い宇宙からながめつつ、判読の視点を広げてみて下さい。

